

平成26年海南省議会9月定例会通告一覧（一般質問）

通告	議席番号 通告者名	質 問 要 旨
1	3番 東方貴子 登壇時間 20分	<p>1 児童・生徒におけるモバイル機器の使用について</p> <p>(1) 市内児童・生徒における、インターネット接続が可能なモバイル機器の所有率及び一日の平均使用時間は</p> <p>(2) 市内児童・生徒がインターネット上の交流サイトで犯罪、トラブルに巻き込まれた事例は</p> <p>(3) 児童・生徒及び保護者が学習する機会ほどの程度あったか</p> <p>(4) 小中学校とPTAが一体となって、夜9時以降交流サイトを利用しないように運動を始めてはどうか</p> <p>2 公民館の活性化について</p> <p>(1) この夏、亀川公民館が夏休みの子供の居場所づくりのために約一週間午前開館を実施したが、参加状況や反応は。また、問題点や課題は</p> <p>(2) 亀川公民館の事例を踏まえ、来年度以降、他の公民館においても午前開館を実施する計画はあるか</p> <p>(3) 公民館主事に社会教育主事講習受講を</p> <p>3 幼稚園給食と中学校給食について</p> <p>(1) 市内公立幼稚園で提供されている給食について、旧海南省、旧下津町で回数の違いをなくし、同じサービスを提供できないのか</p> <p>(2) 中学校給食実施に向けての進捗状況は。何年度の実施に向け計画しているのか</p>
2	8番 榊原徳昭 登壇時間 10分	<p>1 情報のオープンデータ化を求める</p> <p>(1) オープンデータの見解を聞く</p> <p>(2) 各情報をオープンデータ化できないか</p> <p>(3) 災害時避難場所、避難経路、AED設置場所のオープンデータ化</p> <p>2 防災情報伝達について</p> <p>防災情報を発信する民間業者と協働し、民間業者の防災情報を市の防災情報伝達に加えられないか</p>
3	6番 黒木良夫 登壇時間 10分	<p>1 お元気ポイント及び介護支援ボランティア制度について</p> <p>(1) 導入市町村の検証をしますとの答弁が以前にありましたが、その後どうなりましたか</p> <p>(2) 今回、国の介護保険法改正にかかわって、ますますこのような仕組みづくりが必要となっていますが、どう考えますか</p> <p>(3) お元気ポイントをぜひ実施してほしいと思いますが、いかがですか</p> <p>2 黒江交差点の渋滞対策について</p> <p>(1) 苦情の電話はありませんか</p> <p>(2) 現状をどのように思われますか</p>

通告	議席番号 通告者名	質 問 要 旨
4	17番 川 端 進 登壇時間 30分	1 地方分権改革の中間まとめについて (1) 国の制度改正に沿った本市の成果と評価について (2) 分権意識の高まりが生んだ地方独自の取り組みと評価について (3) 地方分権改革の本市における推進体制の整備について 2 再び本庁庁舎移転新築について (1) 審議会等の設置基準はあるか (2) 「賑わいの低下を招かないよう、跡地活用が必須」について (3) 災害時の初動態勢について (4) 和歌山リサーチラボは便利か、について (5) 和歌山リサーチラボへの非公式打診について (6) 既契約者の排除は許されるのか、について 3 老朽公共施設の管理と撤去について (1) 本市の解体希望施設数はどれだけあるのか (2) 公共施設整備・再編計画の作成について (3) 公共施設等総合管理計画について (4) 先進都市に学び「公共施設マネジメント」体制を確立しよう
5	5番 森 下 貴 史 登壇時間 5分	1 釣り人のマナー向上について (1) 釣り人のごみを減らす対策について (2) 釣り人のトイレの利用について 2 浸水時の対応について (1) 浸水時の土のうの貸し出しの周知について (2) 床下浸水後の消毒の対象拡大について 3 救命講習について (1) 開催状況と参加者数について (2) より参加者をふやすための広報について
6	1番 米 原 耕 司 登壇時間 10分	台風11号による被害を受けての減災・防災対策について (1) 和歌山県気象予測システムの運用実績 (2) 日方、黒江・船尾地区における浸水の発生状況及びその対策について (3) 日方川の堤防護岸整備に係る県への要請 ① 神田地区の護岸崩落現場の早期復旧 ② 同地区未改修区間の新堤防早期着工 (4) 大規模洪水被害想定図の改定について
7	2番 中 西 徹 登壇時間 5分	教育委員会の見解について (1) 全国学力テストについて 海南市の結果について (2) 幼稚園運営について 保護者のニーズにどう応えていくのか

通告	議席番号 通告者名	質 問 要 旨
8	13番 橋 爪 美恵子 登壇時間 10分	1 8月の台風11号による被害について (1) 池崎山の土砂崩れについて (2) 下津町地域での台風被害について 2 乳幼児の子育てを大切にするために (1) 幼稚園教育への期待 (2) 保育所への期待 (3) 子育て支援策の充実を (4) 今後の方針について
9	4番 中 家 悦 生 登壇時間 15分	1 健康ロードの維持管理について 非常に荒れているとの声を受けて (1) 改修サイクルについて ① 供用開始から何年経過したか ② これまでの改修実績と今後の計画は (2) 舗装（工法）の見直しが必要ではないか 2 防災行政無線による放送に関して (1) 雨風が激しいときに聞き取れない ① 音程、音質面での検証を行っているか ② 女性の声による放送に変更してはどうか (2) 時報に関する課題について ① 正午と17時に放送する必要性を伺う ② 一定時間、大音量で放送する必要はないのでは 3 防災行政無線電話放送案内に関して (1) 台風11号で避難勧告発令後、話し中でつながらなかったことから、これまでの検証と今後の対応を伺う ① これまでの利用状況を把握、検証しているか ② 受信回線や電話機の増設が必要では (2) 電話番号を表示したシールを作成し配付しては 4 消費者トラブルの増加に対応するため、消費者教育の充実を (1) 努力義務とされる「消費者教育の推進計画」の策定を (2) 小中学校における「消費者教育」の強化
10	14番 河 野 敬 二 登壇時間 20分	1 水害対策について (1) 貴志川の整備について (2) 石尾川（高津地区）の整備について 2 中学校教育について ～来年度より夏休みが短縮に～ (1) 今、生徒も先生も忙しいが、教育委員会ではどのような議論をしているか (2) この際、教育内容の大幅な改善、充実を 3 国保税・市民税の徴収について (1) 最近の徴収事例について、強権的と思われるものがあるが、どのように考えているか (2) 税徴収の基本的方針（やり方）を問う (3) 徴収後も普通に市民生活が送れるように

通告	議席番号 通告者名	質問要旨
11	22番 栗本量生 登壇時間 10分	<p>危機管理体制について ～市民の皆様の安全・安心を守る体制はできているのか～</p> <p>(1) 市民の皆様と向き合った考え方に立っているか</p> <p>① 危機管理課としての基本的な考えは</p> <p>② 全職員の危機管理意識は</p> <p>③ 全職員に対し危機管理の研修は</p> <p>(2) 地震、津波対策は</p> <p>① ハザードマップで安全地帯となっている地域の対策は</p> <p>② 避難所訓練の内容は改善されたのか</p> <p>(3) 大雨、洪水、土砂災害対策は</p> <p>① 洪水、土砂災害に対する対策は</p> <p>② 先月の被害実態を踏まえ考えることは</p> <p>(4) 液状化対策は 液状化対策は進んでいるか</p>
12	11番 上田弘志 登壇時間 15分	<p>1 臨時・非常勤職員の任用について</p> <p>(1) 任用数と職員数に占める割合</p> <p>(2) 任用基準と実態に乖離があるのではないか</p> <p>(3) 地方公務員法第13条による正規職員と均等処遇をすべきではないか</p> <p>2 新庁舎整備計画に伴う跡地利用について</p> <p>(1) 現庁舎周辺を含む整備計画にすべきではないか</p> <p>(2) 早期の計画化を</p> <p>(3) 跡地利用計画に市民の声を</p>
13	12番 岡義明 登壇時間 25分	<p>1 改正 生活保護法について</p> <p>(1) これまで通り口頭での申請は可能か</p> <p>(2) 扶養調査について</p> <p>① 扶養調査は保護の条件ではないことの再確認</p> <p>② 過度な扶養調査</p> <p>(3) 生活保護への偏見やスティグマを断ち切るための取り組みを求める</p> <p>2 新法 生活困窮者自立支援法について ～市民の身近な相談窓口の設置を求める～</p> <p>(1) 本市はどのように取り組むのか</p> <p>(2) 「当事者の主体性や人権はどのように確保するのか」について</p> <p>(3) 要保護者に対し、保護申請への助言が適切に行われることがかなめ</p>